

請求書の押印省略等に関するQ&A

No.	質 問	回 答
1	請求書の押印を省略できるのはいつからか。	令和7年12月1日以降に発行される請求書が対象となります。
2	個人や個人事業主も対象か。	対象となります。
3	電子メール、FAXで請求書を提出してもよいか。	押印を省略した請求書については電子メール、FAXでの提出も可能です。ただし、正当な請求書の要件が鮮明に読み取れるものに限りです。 電子メールの場合は必ずPDF形式の添付ファイルとしてください。
4	押印を省略できるのはどのような印か。	押印を省略できるのは、会社印、代表者印、個人印等の全ての印です。
5	押印省略する場合、必ず発行責任者及び担当者の氏名・連絡先等の記載は必要か。	内容確認のため、必要に応じて担当課から連絡させていただく場合がありますので、押印に代えて「発行責任者及び担当者」の記載をお願いします。
6	「発行責任者」とはどのような者か。	発行責任者は代表取締役または支店長や営業所長など、請求書を発行する権限と責任を有する役職員等のことをいいます。
7	「担当者」とはどのような者か。	「担当者」は、請求書の発行・送付等の事務を担当する方のことをいいます。
8	発行責任者と担当者が同じ場合は、どのように記載するのか。	「発行責任者の職名・氏名及び連絡先電話番号」を記載し、「担当者の所属名・氏名及び連絡先電話番号」は「同上」と記載して構いません。
9	代表者、発行責任者、担当者がすべて同じ場合は、どのように記載するのか。	「発行責任者の職名・氏名及び連絡先電話番号」は、代表者と同一であっても追記をお願いします。「担当者」の記載は不要です。
10	発行責任者及び担当者の氏名について、苗字のみの記載でもよいか。	氏名（フルネーム）の記載が必要です。
11	発行責任者名や担当者名の記載は、手書きでもよいか。	手書きでも結構ですが、鉛筆・消せる筆記用具での記載は不可です。
12	連絡先電話番号は、携帯電話番号でもよいか。	固定電話番号としてください。ただし、固定電話を設置していない場合は、携帯電話番号でも結構です。
13	押印を省略した請求書を提出後、誤字に気付いた。訂正印を押して訂正できるか。	押印を省略した請求書については修正できませんので、再度作成をお願いします。
14	従来どおり、請求書に押印し、郵送や持参してもよいか。	押印された請求書の取扱いに変更はありません。 押印した請求書は、従来どおり原本を提出してください。